



新年のご挨拶

資源循環事業活動報告
ゼロエミッション研究会

森林再生事業活動報告
日向の森、海上の森

2022

新年おめでとうございます。

旧年中は皆様からの温かいご支援とご協力を賜り、誠にありがとうございました。長期化する新型コロナウイルスの影響を受け、皆様におかれましても試行錯誤が続いていることと存じます。そのような状況下、昨年10月に第26回気候変動枠組条約締約国会議が英国グラスゴーで開催され、日本でも菅前首相が2050年までに温室効果ガス排出実質ゼロの脱炭素社会を目指すことを宣言して以来、脱炭素化に向けた気候変動対策の議論が急速に進んでいます。資源循環事業と森林再生事業に取り組む公益財団法人として、財源の確保に努め、脱炭素社会に貢献していく必要があると考えています。

資源循環事業では、「食品リサイクルループの構築と拡大」を最重要課題に据えて取り組んでいます。2019年に名古屋、2020年は群馬で再生利用事業計画の大臣認定を受けることが出来ました。2021年度中には新潟、更に2022年度は京都、福岡で申請できるよう準備を進めています。特に排出企業が共同で食品リサイクルループに取り組む仕組みを構築できたことは、大きな前進でした。まだ小さな輪ですが、食品関連事業者、再生利用事業者(リサイクラー)、生産者、そして消費者を巻き込み、1社でも多くこの仕組みにご参加いただけるよう取り組んで参ります。

森林再生事業では、現在5地域86haの森林保全協定を結んでいます。感染症対策を講じながら、各地域の状況やそれぞれの森林の状態に合わせた活

動を継続して参りました。

事故なく安全に活動できたことは、参加して下さった皆様の熱意と協力のお陰と、改めてお礼を申し上げます。気候変動対策としての森林保全に注目が集まっていますが、人の健康やあらゆる社会・経済活動を支える様々な生態系の基盤となっているのが生物多様性です。SEFでは生物多様性にも配慮して参ります。

SDGsの目標年度まで、あと9年を切りました。美しい地球を美しいまま未来の子どもたちに残していくためには、一人一人が地球環境の大切さに気づき、意識を変えていかなくてはなりません。事業を通して社会に影響を及ぼす存在になれるよう、今年も精一杯取り組む所存です。

輝かしき新春を迎え、皆様のご多幸をお祈り申し上げますとともに、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2022年 元旦



公益財団法人
Save Earth Foundation
代表理事 渡邊 美樹

<ゼロエミッション研究会とは>

当財団では、ゼロエミッションの実現に向けて、2017年より食品小売業・外食産業の店舗から発生する廃棄物(特に食品循環資源)の発生抑制・資源循環・適正処理の手法を学ぶ場として、「ゼロエミッション研究会」を開催しています。

第4回ゼロエミッション研究会 視察会

第4回ゼロエミッション研究会を11月18日(木)に開催し、16社23名と多くの方にご参加頂きました。今回は、新潟県で食品リサイクル事業に取り組んでいる株式会社不二産業(以下、不二産業)様、そしてグループ会社である農事法人新潟不二A.B.(以下、新潟不二A.B.)様にご協力頂き、食品リサイクル施設と農場を視察しました。

① 食品リサイクル施設 視察

新潟県のリサイクル企業である不二産業様では、小売店やホテルから排出される食品廃棄物をたい肥化しています。そのたい肥は、地域の生産農家に利用され、収穫した野菜や果物は、小売店やホテルに出荷される流れで、循環資源の地産地消を行っています。

今回は食品廃棄物がたい肥となり、農作物に使用されるまでの一連の流れを視察しました。



② 農場 視察

次に、生産されたたい肥を使用している新潟不二A.B.様の農場を視察しました。大根や人参、すいかなどが生産されており、収穫間近の大根畑には、立派な大根が沢山できていました。



③ 意見交換会

意見交換会では、SEF顧問/土壌・たい肥の専門家である牛久保氏に「たい肥化」についてご講演頂きました。たい肥の定義から発酵のプロセスや機能など、実際の現場を学んだ後の講演だったため、よりたい肥について理解を深めることができました。

不二産業様の代表取締役である本間様にも参加頂き、有意義な意見交換をすることができました。



牛久保顧問の講演



不二産業代表取締役の本間様

2021年度ゼロエミッション研究会 今後の予定

【日程】全6回

第5回：2022年1月20日(木) 15:00~17:00

第6回：2022年3月17日(木) 15:00~17:00

【勉強会 会場】ワタミ株式会社 東京(大鳥居)本社

【参加費】70,000円 ※賛助会員(民間団体)は無料
※別途：見学会交通費、遠方への個別相談時交通費

【講師】・百瀬則子氏

(SEF業務執行理事、ワタミ株式会社SDGs推進本部長)

・志岐秀明氏

(SEF理事、株式会社ガイドリーム代表取締役)

・牛久保明邦氏

(SEF顧問、東京農業大学名誉教授)

ほか、資源循環・廃棄物関連専門家多数登壇予定

森林再生事業 活動報告

日向の森・海上の森で、森林体験プログラム、 森林保全活動を実施しました！

日向の森・海上の森で森林保全活動

※2021年10月～12月(2021年12月11日現在)

活動日	場所	イベント	参加人数(スタッフ除)	
10月	2日	日向の森	定例保全活動	8名
	9日	日向の森	「わたみ自然学校」受入企画	30名
11月	6日	海上の森	定例保全活動	11名
	13日	日向の森	6歳になったら机をつくろう	15名
	27日	日向の森	定例保全活動	12名
12月	11日	日向の森	定例保全活動(予定)	15名
	25日	日向の森	定例保全活動(予定)	—

2021年11月末までの累計(スタッフ除)

日向の森 **146名** 海上の森 **28名**

◎千葉県山武市「日向(ひゅうが)の森」

10月9日、ワタミ株式会社様が主催する「わたみ自然学校」に参加した子どもたちを対象に日向の森で森林体験プログラムを提供しました。今回は、子どもたちと一緒に3つのテーマを学びました。



※マスクは写真撮影の時のみ外しました。

① 樹木の種類や特徴を知る

森の中に入ると様々な樹木があります。木の種類によって様々な特徴があることを伝えました。子どもたちに知っている木の名前を挙げてもらい、「木の分類」や「特徴」について学びました。

② 「木を植えて、育てて、収穫して、上手に使う」を学ぶ

次に、4年前～今年に植樹したスギが、徐々に大きくなっていく様子を観察しました。子どもたちには、木材生産を目的とした人工林で、光合成量を調整し、成長スピードをコントロールするために行われる枝打作業を体験してもらいました。

③ 森や自然について考える

最後に身近にある木を使用したクラフト体験をしました。子どもたちは自分で土台となる木材を切裁して、思い思いにどんぐりなどの自然のパーツを付けてオリジナルのオブジェや動物の顔を制作しました。



◎愛知県瀬戸市「海上(かいしょ)の森」

11月6日、2回目の活動となる今回は、午前中は日向・日陰のプロットを観察、ベンチを整備し、午後はクラフト(トナカイづくり)を行いました。



※マスクは写真撮影の時のみ外しました。

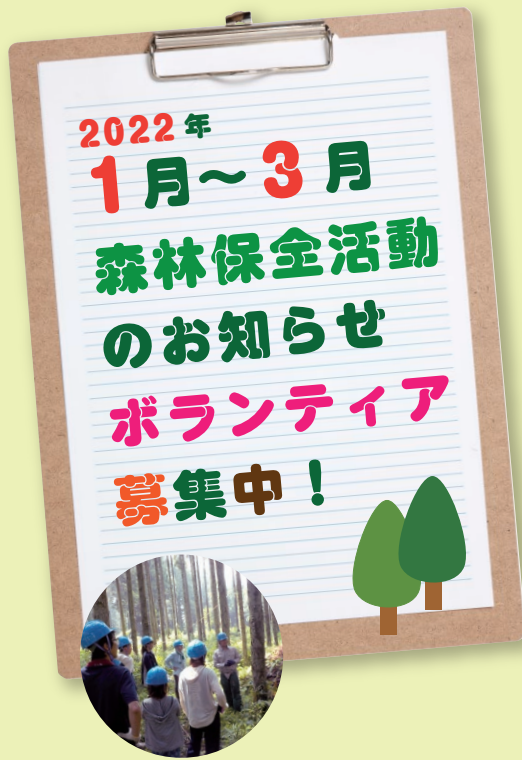
日向と日陰のプロットでは、まったく植生が異なることを観察しました。特に日向プロットでは4月に観察した時には無かった植物(ボロギク、ヘビイチゴ、カラスザンショウ等)が見られ、草の背丈も1メートル近く成長していました。一方、日陰プロットは、植物が見られない状態でした。午後は、間伐作業で発生した材を使用してクラフト(トナカイづくり)を行いました。整備作業で除伐した木を、トナカイの角や脚として使用。枝部分を切裁するところから始め、釘などを一切使用せずに、丸太切りから穴あけまですべて自分たちの手で組み立てました。



※日向プロット(左)・日陰プロット(右)



クラフト(トナカイ)



SEFでは、各地域での森林保全活動をお手伝い頂けるボランティアさんを募集しています。

千葉県山武市では原則として毎月第2・第4土曜日に定例活動を行っているほか、他地域でも年数回の活動を実施しています。

なお、活動実施にあたり感染症の拡大防止に最大限の配慮を講じてまいります。下記リンクから確認事項等ご参照のうえ、ご参加をお願いいたします。

<https://save-earth.or.jp/archives/6783>

<2022年1月～3月の活動予定>

●千葉県山武市

1月8日(土)、1月22日(土)

2月12日(土)、2月26日(土)

3月12日(土)、3月26日(土)

※その他地域での活動予定については、SEF ホームページをご覧ください。



活動の詳細、お申込みはコチラ ▶▶ <https://save-earth.or.jp/event>



ご寄付いただきました。ありがとうございます！

一般寄附 ●株式会社トラスキー様 (140,000円) ●名和株式会社様 (255,252円)

指定寄附：森林再生事業 ●ロバート・ウォルターズ・ジャパン株式会社様 (79,450円)

賛助会員・サポーター入会のご案内

SEFの活動は、皆さまからのご支援に支えられています。

「美しい地球を未来の子どもたちに残したい」。この思いにご賛同いただける皆様のご入会をお待ちしております。

企業・団体	会員特典	<ul style="list-style-type: none"> ・食品リサイクルループ構築支援 ・「企業の森づくり活動」支援 ・廃棄物法令、食品リサイクル、廃棄物管理等の専門家による助言・指導 ・「ゼロエミッション研究会」など、各種セミナー等へのご招待・ご優待 		
	会員区分 年会費	特別賛助会員	1□	500,000円
個人	会員区分 年会費	賛助会員	1□	50,000円
		資源循環サポーター	1□	50,000円(資源循環事業に用途を限定)
		森林再生サポーター	1□	50,000円(森林再生事業に用途を限定)
		会員特典	<ul style="list-style-type: none"> ・「ゼロエミッション研究会」など、各種セミナー等へのご招待・ご優待 ・森林ボランティア活動参加者に千葉県産サンプスギ製「サポーター登録証」を発行 	
		賛助会員	1□	10,000円
		資源循環サポーター	1□	1,200円(資源循環事業に用途を限定)
		森林再生サポーター	1□	1,200円(森林再生事業に用途を限定)

ご入会のお申込みはこちらから→<https://save-earth.or.jp/member/apply>

